

経済学部 経済データ分析学科（※2026 年 4 月新設）

教育研究上の目的

経済データ分析学科は、市場や経済政策に関する深い理解に基づき、変化の激しい現代経済における様々な問題を解決できる人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、経済学部経済データ分析学科では、変化の激しい現代において行動するにあたり、理論とデータに基づいて論理的に思考するとともに、様々な経済的問題に対して実践的に対応できる人材の育成を最終目標とします。

本学科では、学科独自の初年次専門教育、実践的なデータ分析を行うための少人数講義及び少人数の長所を活かしたゼミナールを中核に、2 コースからなる専門教育を展開します。また、数理・論理的思考を重視するとともに、経済学の理論的知識およびデータ分析の実践に必要なコンピュータやプログラミングなどに関する基礎能力の養成に努めます。4 年間の学修を通じて、経済理論の理解に基づいてデータから新たな事実を発見するとともに、経済的問題を解決できる能力の涵養を教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

本学科のカリキュラムにおいて、所定の卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる能力や資質を身につけていると判断し、学士(経済学)が授与されます。

1. 自立した良識ある市民としての判断力と実践力

- (1)現代の経済活動について、適切に判断するための論理的思考力を身につけている。
- (2)現代社会に関する幅広い見識をもち、それを現実を起こる諸課題の解決に適用する能力を身につけている。

2. 国際的感性とコミュニケーション能力

- (1)国際的な視点から社会を理解する能力を身につけている。
- (2)他者の主張を理解するとともに、自らの主張を適切に表現することで、対人関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。

3. 時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能

- (1)現代経済を理解するための基礎となる経済理論や制度、および市場や政策に関する専門的知識を身につけている。
- (2)経済に関する課題を発見し、解決するために必要なデータ分析に関する知識とそれを実践するための技能を身につけている。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本学科では、現代の経済問題を正確に認識し、実践的に対応する能力を培うとともに、教養を身につけ基礎学力をバランスよく備えるために、次に掲げる方針で教育課程を編成しています。

1. 教育課程の編成・実施

- (1)現代社会に関する幅広い見識や国際的感性とコミュニケーション能力を身につけるために、多種多様な共通教養科目を設置しています。
- (2)経済数学に関する科目を複数設置し、数理・論理的思考力の強化を図ります。

- (3)日本語によるコミュニケーション能力を強化するために「リーディング」及び「ライティング」を設置するとともに、国際的感性と英語によるコミュニケーション能力を涵養するために「経済専修英語」を複数設置しています。
- (4)経済理論や制度、及び政策や市場に関する専門的知識を体系的に身につけるため、①政策分析コース、②市場分析コースという2つのコースを設置しています。
- (5)データ分析に関する知識とそれを実践するための技能を身につけるため、データ分析入門やデータベース、プログラミングに関する科目を設置しています。
- (6)少人数で多種多様なテーマに取り組むゼミナールを、第4セメスターから第8セメスターまで設置しています。

2. 教育の方法と評価

- (1)教育課程の実施にあたっては、経済学の知識を段階的、体系的に学べるように、入門科目から応用科目(専門科目)へ適切に科目を配置しています。入門科目としては、大学教育への適応を容易にするため、初年次に「FYS」(ファースト・イヤー・セミナー)、「経済入門」、「データ分析入門」及び「経済情報処理基礎」を設置しています。また、専門科目も学科に関わる科目やコースに基づく科目を充実させています。
- (2)少人数の授業を多数設置し、反転授業などのアクティブ・ラーニングを行っています。
- (3)単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化しています。

アドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)

1. 大学教育によって培う能力

- (1)本学科では、市場や経済政策に関する深い理解に基づき、変化の激しい現代経済における様々な問題を解決できる能力を培うとともに、教養を身につけ基礎学力をバランスよく備えた人材を育成します。

2. 本学科の求める入学者

- (1)社会・経済問題に強い関心を持ち、それを経済理論に基づいたデータ分析を用いて解決することを目指す人。
- (2)複雑な社会現象を理解するために必要な高い数理・論理的思考能力を身につけたい人。
- (3)変化の速い現代社会において実践的に対応するための情報処理能力を身につけたい人。
- (4)日本語および外国語によるコミュニケーション能力を高めたい人。
- (5)経済理論やデータ分析を学修するうえで必要とされる基礎学力及び数理・論理的思考力を有する人。

3. 高校までの能力に対する評価(選抜方法)

- (1)本学科では多様な入学試験を実施し、様々な視点からの選考を行うことにより、経済理論やデータ分析を学修するうえで必要とされる基礎学力及び数理・論理的思考力を有し、社会・経済問題に対する強い関心をもつ者を受け入れます。